

希 望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 28 年 10 月 3 日発行

第 21 号

発行人 校長 鈴木史良

おもしろいことを探す楽しさ2

—— 「ルーシー」が私たちに語ってくれたこと ——

今年の6月にチューリッヒ大学理学部の清水健太郎先生のご厚意のもと、大学で植物研究室や人類学博物館を見学させていただくというたいへん魅力的な講話会をもちました。その時、人類博物館で「ルーシー」と名付けられたアウストラロピテクス（猿人）の化石骨のレプリカが展示されていたことを多くの子どもたちは覚えていると思います。背骨がS字形になっているので立って歩けたこと、骨盤も横に広がっているため縦長のチンパンジーに比べて木に登りにくい形になっていること、現代人とは少し違った歩き方をしていたということ等、化石骨からいろいろなメッセージを読みとることができるという、まるで魔法のような興味深い話を伺うことができました。その「ルーシー」について、最新の研究により、更に新たなことがわかったとニュースで話題になりました。

「ルーシー」は、1974年にエチオピアで発見された、318万年前の化石人骨ですが、骨に亀裂があることは発見当時から知られていました。ただ、その亀裂の原因については長い間誰も考えたことがなかったそうです。しかし最近になって、その亀裂に関心をもち、詳しく調べた科学者たちがいました。米テキサス大学のジョン・カッペルマン教授とそのグループです。

8月29日、科学雑誌「ネイチャー」に発表された論文によると、彼らはCTスキャナーでルーシーの化石化した骨格を3万5千以上の断面をスキャンし、丹念な記録を作成しました。そして、それらの断面の解析から、ルーシーの右上腕骨の端に見受けられる鋭いはっきりとした損傷が明らかになったのです。ルーシーの右上腕骨の骨折の跡は、落下したけが人に見られる骨の損傷と似ており、これは彼女が地面に向かって垂直に落下したときに腕等を骨折した結果、死亡したことを示しているのではないかと説明しています。彼らの仮説によると、「ルーシー」は高さ12mくらいの木の上から落ち、足から着地して、体は右側に向けて前に投げ出されたと推定しています。地面に当たる瞬間、落下の衝撃を和らげようと死に物狂いで両腕を伸ばしましたが、衝撃の強さが大きすぎたために足腰の骨、腕の骨、肋骨等を損傷し、助からなかったと考えているそうです。

骨の亀裂からこんなことまで推定できることが、科学の力であり、科学者のすばらしさだと思います。「ルーシー」の死因がこのようにリアルにわかると、不幸な死を遂げた彼女が318万年前の猿人というよりは、はるかに身近な存



「ルーシー」の化石骨(レプリカ)を見る子どもたち

在として感じられてくるから不思議です。

「ルーシー」はなぜ危険な12mもある高所から落ちたのでしょうか。果実採集ならもっと低いところでもできるはず。だとすると、地上の危険を避けて樹上で寝泊まりする生活を送っていたとも考えられます。それにチンパンジーに比べ、2本足歩行も得意だったので、地上と樹上の両方に生活圏をもっていたのだろうと、この時代の「猿人」の生活を想像することができます。しかし、「ルーシー」のように樹上の生活は必ずしも安全とは言いきれません。2本足歩行が進化していく過程において骨盤が広がり、その分木登りは苦手となり、樹上から落下する事故も増えたに違いありません。地上生活をするために進化した私たちの祖先は、こうして樹上生活から離れ、地上のみの生活に変わっていったのではないかと考えられます。ここで、清水教授の言葉をもう一度思い出してみましょう。

“誰もまだわからないことを調べることが楽しい。おもしろいことを探す、何かを知りたいと思って、新しいことを見つけることが大切です。”

普段の生活の中で疑問に思ったりしたことを大切に、自分で調べてみる。その中におもしろさを見つけ、粘り強く取り組んでいくと、もっともおもしろいことが見えてくる。それは子どもたちの学ぶ力を育てることにつながります。今回の「ルーシー」のニュースは秋の夜長にそのようなことを考えさせてくれました。

月例児童生徒朝会から

9月の生活目標「正しい言葉づかいを意識しよう」を具現化するためのキャンペーン活動が終わり、その成果が「とにかく明るい委員会」から発表されました。どの学年も◎をつけた子どもが多く、毎日の取り組みを自己評価することで、生活目標を忘れることなく実行できたのではないかと思います。反省の中にも、「キャンペーンが終わってからも意識していた人がいた。」という声を聞くことができました。

さて、10月の生活目標は、「人の意見をしっかり聞こう」です。各学年の発達段階に応じて、めあてが提案されました。今月は「しっかり聞く」ことに重点を置いていきましょう。

低学年・・・話しているあいてのほうをむいてしっかりきこう。

中学年・・・相手の意見を最後まで聞こう。

高学年・・・自分の意見と比べて聞こう。

中学生・・・相手の意見を聞いて、よいところと改善点を見つけ、伝え合おう。

なお、明日（4日）の昼休みに執行部主催の全校レクレーションが行われます。お楽しみに！



チンパンジー(左)と猿人(右)の骨盤



児童生徒朝会の様子